

複素関数論（2023前期）

- 複素数の数学への入門である。主に複素数を変数とした一変数の関数を扱う。変数が実数の場合と何が違うのか。また、変数を複素数にして何がうれしいのか、面白いのか。目指すは、そういった諸々を考えるきっかけになること。
- 教科書は、
<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yamagami/teaching/complex/complex2023.pdf>
 参考書は、
<https://www1.econ.hit-u.ac.jp/kawahira/courses/kansuron.pdf>
<http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/keikei/lecture/math-note.pdf>
- 成績は、授業時間内で行う4回の試験（4点×3回＋8点×1回）の合計による。12点以上が合格。試験結果はその都度通知するので、到達度を確認しながら学習されたい。なお、受けた試験の配点の合計が12点未満の場合は欠席の評価となる。
- オフィスアワー：次のメールアドレスまでメールにて。
yamagami@math.nagoya-u.ac.jp
- 授業の情報は、
<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yamagami/teaching/complex/hukuso2023.html>
 に随時掲載。

進捗予定表 (変更の可能性あり)

4/14	複素数の計算オイラー風
4/21	複素数の幾何学 (1,2)
4/28	複素数の収束と微積分 (3,4)
5/12	まとめと試験1
5/19	複素変数と微分 (5,6)
5/26	コーシー・リーマンの関係式 (7,8)
6/02	まとめと試験2
6/06	線積分と不定積分 (9,10)
6/16	積分定理とその応用 (11,12)
6/23	積分公式とテイラー展開 (13,14)
6/30	まとめと試験3
7/07	絶対収束とべき級数 (15,16)
7/14	留数計算 (17,18)
7/21	対数関数と定積分
7/28	試験4

人は生まれ、そして死ぬ。
 その間は、どうしてもよいことの積み重ねであるか。
 だとすれば、些細なことがすべてを分け隔てるべく、
 この邂逅の軽重は神のみぞ知る。
 ところに手を当ててごらん、
 そんなひどいことはできないはずだ、
 そんなひどいことにはならないはずだ。